

研究方法案

○研究テーマ：タスク管理アプリではどのような可視化が最も有効的なのか

○分析目的：利便性と可視化の関係性（相関）を探る事

【 】方式の研究対象アプリについて各自調査を行う

↓

調査結果レビュー

（レビューの目的：調査軸のズレ・濃度差の調整、調査データの整理）

↓

レビューを踏まえた追加調査

上記サイクルをタスク管理方式ごとに繰り返す

（カレンダー→ToDo リスト→カンバン の順）

調査終了後、方式ごとに利便性を「可視化の状態」と「機能原因」の観点で検証し、相関を探す。

↓

その相関を元に提案レイアウトを2点ほど作成（あくまでレイアウト）

↓

（可能ならば）この段階でどのレイアウトが使いやすいと感じるかのアンケートを実施し、データ補強

↓

より使いやすいレイアウトでアプリ作成